

長期の薬剤使用後に全身の疼痛・出血を伴い4年目に症状が軽減した成人アトピーの経過 (44歳)

症例 ID：001-40-YY6

記録日：2013年1月15日

1. 診断・治療前経過

成人後、全身の強いかゆみが続き、近医で外用薬を処方され約2年間使用しました。その後は他院で漢方薬と内服薬を約7年間使用しました。

症状は手足や首の亀裂と出血、顔のむくみ、体重減少、全身の疼きへ進み、悪い時期には通常の生活が困難となりました。家族の勧めで松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	成人後の全身のかゆみに対して外用薬を使用しました。本人はステロイドであった可能性を考えていましたが、薬剤名は確認できません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	約2年間です。
中止時期	松本医院での治療開始時です。
来院前／後	来院前に外用薬の使用歴があります。来院後は従来の外用薬を使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
記録日の約14年前	発症	全身に強いかゆみが出て、近医を受診しました。
その後約2年間	外用継続	製品名不明の外用薬を使用し、使用量が次第に増えました。
続く約7年間	他院治療	漢方薬と内服薬を使用しましたが、全身症状は次第に強くなりました。
松本医院受診前	症状の拡大	手足や首の亀裂・出血、顔のむくみ、体重減少、全身の疼きがみられました。
治療開始	治療開始	従来の薬剤を中止し、治療を開始しました。
開始1～2年目	症状の強い時期	全身の熱感と出血、強い寝汗、不眠が続き、仕事を休む日もありました。
開始3年目	変化	症状の強さが少しずつ和らぎました。
開始4年目	長期経過	全身状態が大きく軽くなり、手の甲の黒ずみも薄くなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始から1～2年目に、全身の熱感と出血、強い寝汗、不眠が続き、体調の悪い時期には仕事へ行けない日もあった時期です。

5. 困りごと

- 全身の疼き、亀裂、出血が続きました。
- 夜間に眠れず、強い寝汗がみられました。
- 体調の悪い時期には仕事を休む必要がありました。
- 顔のむくみ、体重減少、出血に伴う貧血など、生活全体への負担がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中の記録として掲載しています。

(1) 検査値

時期	検査値
治療開始後の症状が強い時期	アレルギー値 20,000 弱（検査項目名・単位は確認できません）

7. 経過のまとめ

治療開始後の1～2年目は全身の出血や不眠を伴う強い症状が続きましたが、3年目から症状の強さが和らぎました。4年目には全身状態が大きく軽くなり、手の甲の黒ずみも薄くなりました。記録時点では完全に症状がなくなった状態ではありませんでしたが、通院の中で、通常の生活に近づく前向きな変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。